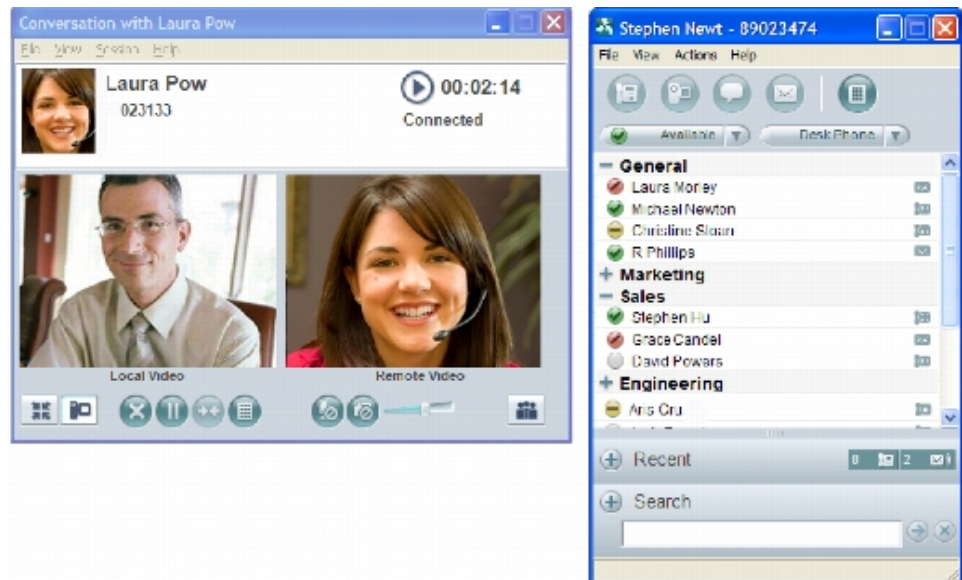


Cisco Unified Personal Communicator 1.2

シスコ ユニファイド コミュニケーションは、音声、ビデオ、データ、モビリティ製品およびアプリケーションで構成される包括的な IP コミュニケーション システムです。シスコ ユニファイド コミュニケーションを利用することによって、より効果的で安全かつパーソナルなコミュニケーションが実現し、売上と利益の両方に直接的な効果が現れます。このシステムによって新しい形のコミュニケーションが実現し、人と人の距離が縮まります。ユーザはどこに移動してもビジネスを遂行でき、あらゆる場所がセキュリティで保護され、いつでもどこでも必要なときに情報を手に入れることができます。シスコ ユニファイド コミュニケーションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、モビリティ、ネットワーク管理製品、ライフサイクル サービス、柔軟な導入と管理オプションのアウトソーシング、エンドユーザとパートナー向けのファイナンス パッケージ、およびサードパーティのコミュニケーション アプリケーションを含む統合ソリューションです。

Cisco Unified Personal Communicator は、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムに不可欠なコンポーネントであり、ユーザに新しいコミュニケーションとコラボレーションの手段を提供します。Cisco Unified Personal Communicator(図 1)では、音声、ビデオ、Web 会議、インスタントメッセージング、およびプレゼンス情報のいずれについても、ユーザの PC または Apple Macintosh から共通のリッチメディア インターフェイスを使ってアクセスできます。Cisco Unified Personal Communicator では、最も頻繁に利用するコミュニケーション アプリケーションとサービスを透過的に統合することにより、コミュニケーションにまつわる操作が短縮され、業務をより効率的に進めることができます。

図 1 ビデオを利用した Cisco Unified Personal Communicator



ソリューションの概要

さらに効果的なコミュニケーション

企業では日常的に大量のコミュニケーションが発生し、社員、パートナー、および顧客とのコミュニケーションのためにさまざまなデバイスやアプリケーションを使用する必要があります。それぞれのアプリケーションは、ルール、ツール、ディレクトリに共通性がなく、動作も異なります。Cisco Unified Personal Communicator では、さまざまなコミュニケーション ツールに迅速かつ簡単にアクセスできるため、コミュニケーションにまつわる操作が簡素化されます。たとえば、Cisco Unified Personal Communicator の動的なプレゼンス機能およびインスタント メッセージング機能を使用すると、同僚が在席していてリアル タイムでチャットできる状況かどうかを確認することができます。このように、不在による行き違いが少なくなることで、社員の生産性が向上します。既存ディレクトリを簡単に検索して必要な連絡相手を探し、連絡をとることができます。ビデオ会議および Web 会議では、フェイスツーフェイスでアイデアを交換しながら、効果的にコラボレーションを進めることができます。また、即座に音声メッセージを表示したり、聞いたりすることも容易にできます。Cisco Unified Personal Communicator の場合、いつでも、どこからでもコミュニケーションやコラボレーションのツールに仮想的にアクセスできるので、効率的なコミュニケーションを行うことができます。

社員および意思決定者のコミュニケーション遅延の解消

Cisco Unified Personal Communicator では、連絡をとる前に、相手が在席しているか通話中であるかがわかります。このプレゼンス情報は、Cisco Unified Presence の動的な情報によって自動的に更新され、誰がオンライン、オフライン、在席中、通話中であるかを知ることができます。「休暇中」「会議中」などのカスタマイズ情報を共有すると、不在または応対不可の理由を知ることができます。連絡相手が在席しているかどうか、どのような連絡方法が一番よいかがわかると、従業員間でコミュニケーションの遅延がなくなり、意思決定も迅速になり、生産性も向上します。また、Cisco Unified Personal Communicator では、相手が望む連絡方法（音声、ビデオ、電子メール）を知ることができます。

コミュニケーションの効率化

Cisco Unified Personal Communicator によって、統合コンタクト リスト、クリック ツー コール、ボイスメールの再生、着信コール通知、メディア エスカレーションなど強力なコミュニケーション機能がデスクトップまたはノート PC に統合されます。1 つのウィンドウからコミュニケーションを操作することで、効果的で効率的なコミュニケーションを行うことができます。

- Cisco Unified Personal Communicator を使用して企業ディレクトリを検索し、連絡相手の情報をすばやく見つけることができます。
- アプリケーションを表示してクリックするだけでコールを発信でき、電話番号をダイヤルする必要がないため、時間を節約できます。
- 内蔵されているソフトフォンから発信、あるいは Cisco Unified Personal Communicator を使用して Cisco Unified Communications Manager の管理下にある Cisco Unified IP Phone から発信できます。
- Microsoft Outlook のコンタクト リストまたは E メール内にある Cisco Unified Personal Communicator のツールバーから、クリックしてダイヤルできます。
- 最近のコミュニケーション履歴を表示して、迅速に応答することができます。コミュニケーション履歴では、いつ、誰が発信してきたかがわかります。画面上にボイス メッセージを表示し、クリック

して再生したり、コール バックしたりできます。メッセージ カウンタによって、ボイスメールの件数と不在中のコール数を確認できます。

- 通信メディアを必要に応じて追加できます。コールがあれば、すぐにビデオ会議または Web 会議機能を利用して、コラボレーションおよび会議の効率を高めることができます。
- 会議参加者の一覧を見ることができるので、出欠の確認が不要です。
- 着信コールのポップアップ通知を受信できます。発信者とそのコール タイプ(音声のみ、またはビデオ)を、応答前に確認できます。マウスでクリックするだけで、コールを受信することもボイスメールに転送することもできます。

生産性およびコラボレーションの向上

Cisco Unified Personal Communicator では、ビデオ会議または Web 会議を使用して、音声通話の範囲を超えたコミュニケーションを行うことができます。インタラクティブなフェイスツーフェイスのコミュニケーションによって、生産性やコミュニケーションの質が向上し、ビジネスの意思決定が合理化され、チームワークが改善されます。ビデオ会議では、実際に会って行う会議の必要性を低減することで、交通費や会議に行くための時間を節約できます。

Web 会議では、いつでも、どこでも、従業員と仮想的なコラボレーションを行うことができます。Cisco Unified Personal Communicator では、場所を問わず、遠く離れた人ともドキュメントやプレゼンテーションを共有できます。仮想会議を日常のコミュニケーションに取り入れることで、市場範囲を広げ、業務を効率化し、迅速な意思決定を行うことができます。

主な機能と利点

- **コミュニケーションの統合**: 音声およびビデオ コール、インスタント メッセージング、ボイスメールの再生、Web 会議、および統合ディレクトリを、わかりやすい 1 つのインターフェイスから利用できます。
- **プレゼンス**: Cisco Unified Personal Communicator のユーザが在席しているかどうかをリアルタイムで表示できます。また、カスタマイズしたメッセージの表示、不在通知の設定、および Microsoft Outlook カレンダーに基づくプレゼンスの表示を選択することもできます。
- **ユニファイド コンタクト リスト**: 1 つの使いやすいインターフェイスから企業ディレクトリを検索して、連絡相手をすぐに見つけることができます。クリックするだけで、コールの発信が可能です。
- **メディア エスカレーション**: 対話中にコミュニケーション方式を追加できます。たとえば、音声通話中にビデオ機能を追加したり、音声またはビデオ会議中に Web 会議またはホワイトボード機能を追加したりすることが可能です。
- **クリック ツー コール**: 統合ソフトフォンまたは関連付けられた Cisco Unified IP Phone を使用して、コンタクト リストからダイヤルできます。また、新しい Outlook ツールバーを使用すれば、Microsoft Outlook から直接クリック ツー コールを行うことも可能です。
- **統合音声/ビデオ コール**: PC の画面に表示されたビデオ ディスプレイと、ソフトフォンによる音声会話を使用して、フェイスツーフェイスの場合と同じように意見を交換することができます。ユーザは Cisco Unified Personal Communicator、Cisco Unified Video Advantage、Cisco Unified IP Phone 7985G(パーソナル デスクトップ ビデオフォン)を使用している相手にビデオコールを発信できます。
- **IP Phone の関連付け**: Cisco Unified Personal Communicator を使用して、デスクトップの Cisco Unified IP Phone を操作し、コールの送受信を行います。

- **インスタント メッセージング**: インスタント メッセージングを使用してリアルタイムでチャットできるため、時間の節約になり、不在による行き違いも少なくなります。
- **会議**: わかりやすい Cisco Unified Personal Communicator インターフェイスを使って会話セッションを組み合わせるだけで、音声またはビデオの会議セッションを作成できます。別々の会議ブリッジにコールを発信する必要はありません。
- **Web 会議**: プレゼンテーションなどのコンテンツを共有する通知を送って、Web 会議セッションを起動します。
- **ボイス メッセージ**: 同じアプリケーションから Cisco Unity[®] または Cisco Unity Connection ボイスメール メッセージの機能(メッセージの表示、再生、ソート、削除)にアクセスします。

システム要件

表 1 および表 2 に、Microsoft Windows と Apple Macintosh それぞれにおける Cisco Unified Personal Communicator のコンピュータ要件を示します。

表 1 Cisco Unified Personal Communicator のコンピュータ要件 (Microsoft Windows)

パラメータ	説明
ディスクスペース	200 MB のハードドライブ空きスペース
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> • 1.8 GHz 以上の Pentium 4 またはそれと同等のプロセッサ (ビデオ コール機能には 2.4 GHz 以上を推奨) • デスクトップ PC 要件: DirectX 9.0c 対応グラフィック カードおよび最低 32 MB (デュアルヘッドカードの場合は 64 MB) のビデオ RAM、1024 × 768 × 16 ビット以上。ビデオ コールの場合は、DirectX 9.0c 対応グラフィック カードおよび最低 64 MB (デュアル ヘッド構成の場合は 128 MB) のビデオ RAM • ラップトップ PC 要件: DirectX 9.0c 対応グラフィック カードおよび最低 32 MB のビデオ RAM、1024 × 768 × 16 ビット以上 • 非 ISA 全二重サウンド カード (統合または PCI ベース)、または USB サウンド デバイス × 1 • 10/100 Mbps イーサネット ネットワーク インターフェイス カード × 1 • USB 2.0 ポートに接続された Cisco Unified Video Advantage Camera II (ビデオ コールに必須) • ソフトフォン使用時には USB ヘッドセットを推奨* • Windows Vista オペレーティング システム使用時には Microsoft Vista Premium Ready PC が必要。上記の要件以外の Microsoft Vista の実行に関する詳細情報については Microsoft の Web サイト を参照してください。
メモリ	256 MB RAM (ビデオ コール機能には 512 MB を推奨)
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP Professional (Service Pack 2) または Microsoft Windows Vista Business Edition または Enterprise Edition • Macromedia Flash Player 6.0.79 以上 (Web 会議に必須) • Microsoft DirectX 9.0c • Microsoft Outlook 2003 (クリック ツール ダイアル ツールバーのサポートに必須)
接続	ソフトフォン コールには高速接続が必須 (オーディオ コール用: 128 kbps、ビデオ コール用: 300 kbps)

表 2 Cisco Unified Personal Communicator のコンピュータ要件 (Apple Macintosh)

パラメータ	説明
ディスクスペース	200 MB のハードドライブ空きスペース
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> • 1.4 GHz 以上の PowerPC G4 またはそれと同等のプロセッサ。ビデオ コール機能には、すべての Macintosh に PowerPC G5 または Intel プロセッサを推奨 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 非 ISA 全二重サウンド カード (統合または PCI ベース)、または USB サウンド デバイス × 1 ◦ 10/100 Mbps イーサネット ネットワーク インターフェイス カード × 1 • Apple iSight Camera (ビデオ コールに必須) (外付けの iSight カメラ使用時には Firewire 400 ポートが必要) • ソフトフォン使用時には USB ヘッドセットを推奨*
メモリ	512 MB RAM

パラメータ	説明
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> Mac OS X 10.4.7 以降 Macromedia Flash Player 6.0.79 以上 (Web 会議に必須) Apple Address Book 4.0.4 (485.1) 以降 (Mac OS X 10.4.7 で使用可能) (ローカル アドレスブックのサポートに必須)
接続	ソフトフォン コールには高速接続が必須 (オーディオ コール用: 128 kbps、ビデオ コール用: 300 kbps)

* Cisco Technology Developer Program によって、Cisco Unified Personal Communicator との併用が検証されたデバイスのベンダー リストは、<http://www.cisco.com/pcgi-bin/ctdp/Search.pl> から入手可能です。これらのデバイスは、確認試験を通り相互運用性基準を満たしているため、シスコの製品仕様にも適合しています。

最小システム要件

- Cisco Unified Communications Manager 5.1 (2) または 6.0
- Cisco Unified Presence 6.0
- Cisco Unified IP Phone (注: すべての電話機ロードが コンピュータ/テレフォニー インテグレーション [CTI] をサポートしているわけではありません。CTI をサポートしている電話機の一覧についてはアドミニストレーション ガイドを参照してください。
 - Cisco Unified IP Phone 7940G モデル
 - Cisco Unified IP Phone 7960G モデル
 - Cisco Unified IP Phone 7970G モデル
 - Cisco Unified IP Phone 7985
- Cisco Unified MeetingPlace[®] Express 1.2 または Cisco Unified MeetingPlace 6.0 (Web 会議機能に必須)
- Cisco Unified MeetingPlace 6.0 (ホワイトボード機能に必須)
- Cisco Unity Connection 1.2、Cisco Unity 4.2、または Cisco Unity 5.0 (ボイスメール アクセスに必須)
- Cisco Unified Videoconferencing 5.0 または Cisco Unified MeetingPlace Express VT 1.2 または 2.0 (ビデオ会議機能に必須)
- Lightweight Directory Access Protocol Version 3 (LDAPv3) サーバ

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細は、シスコの代理店にお問い合わせいただくか、シスコの Web サイトの「[購入案内](#)」または表 3 を参照してください。

表 3 発注情報

製品名	製品番号
Cisco Unified Personal Communicator	UPC-CLIENT-K9-PC
Cisco Video Advantage Camera II 24 ユニット バンドル	UPC-CAMERAS-24=

シスコ ユニファイド コミュニケーションのサービスおよびサポート

シスコとシスコのパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムをサポートするための幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。これらのサービスは、IP コミュニケーション ソリューションの構築、運用、および最適化に効果のある手法を基にしています。たとえば、早期段階に計画サービスおよび設計サービスを活

用すると、厳しいスケジュール要件を満たすことができ、導入作業中のネットワークの停止を最小限に抑えます。運用サービスを使用すると、専門のテクニカル サポートによって通信の中断リスクを軽減できます。最適化サービスを使用すると、ソリューションのパフォーマンスが向上し、運用効率が高まります。シスコとそのパートナーは、耐障害性の高い統合型ネットワークの構築および維持に役立つシステムレベルのサービスおよびサポートを提供し、企業ニーズに対応しています。

関連情報

Cisco Unified Personal Communicator の詳細は、以下の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/jp/go/unifiedpersonalcomm>

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先